

【新規格付け】 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

第11回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券： AA
第12回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券： AA

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付けを公表しました。

【格付け理由】

運輸施設整備事業団（運輸事業団）と日本鉄道建設公団（鉄道公団）が統合し、2003年10月1日に独立行政法人として発足した。建設勘定、助成勘定、海事勘定（2006年度に旧船舶勘定、造船勘定を統合して設置）などの勘定を持ち、整備新幹線や民間鉄道の建設、共有船の建造、旧国鉄の長期債務の償還と鉄道建設に対する助成などの事業を行っている。鉄道や海上運送などに関する運輸政策の執行機関として国との一体性は強い。

建設勘定で手がける整備新幹線の建設は助成勘定からの繰入金と国・地方自治体の補助金など返済を必要としない資金で全額が賄われており、事業リスクは極めて低い。一方、機構が独自に資金を調達して鉄道施設を建設し、完成後に鉄道事業者に譲渡、所定の期間で資金回収する民鉄線等の事業では、いくつかの案件で開業後の収支が鉄道事業者の当初計画を下回った。しかしこうした案件は国・関係自治体が一体となりリスクスケジュール計画を組んでおり、機構が多大な負担を強いられる懸念は小さい。

また、内航海運業者と共有で船舶を建造する共有船事業は、内航海運業者の経営不振に伴って発生した未収金に対する貸倒引当金の繰り入れ等を行った結果、繰越欠損金を計上しており、同事業を抱える旧船舶勘定は債務超過に陥っている。しかし、国と一体になって未収金解消に向けた取り組みを進めており、旧船舶勘定は2005年度に当期損益段階で黒字転換し、同勘定の債務超過額はその前の年度の458億円から378億円へ減少した。引き続き、改善状況を見守っていく。

【格付け対象】**発行者：鉄道建設・運輸施設整備支援機構**

名称	第11回及び第12回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券
発行額	第11回＝113億円、第12回＝105億円
発行日	ともに2007年2月23日
償還日	第11回＝2011年3月18日、第12回＝2016年12月20日
表面利率	第11回＝1.22%、第12回＝1.91%
格付け	AA（新規）
受託会社	みずほコーポレート銀行
担保	一般担保付
備考	会社法の規定に基づく社債管理者ではなく、 独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構法に基づく 受託会社が置かれる

☆発行体格付け： AA [格付けの方向性：安定的]

発行体格付けとは、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力に対するR&Iの意見で、原則としてすべての発行体に付与する。個々の債務（債券やローンなど）の格付けは、契約の内容や回収の可能性などを反映し、発行体格付けを下回る、または上回ることがある。